県政報告

去る8月27日、おざわ良央県議は令和３年第７回臨時県議会本会議で、**自民党県議団を代表**し、猛威をふるう新型コロナウイルスへの県民の不安や懸念を少しでも払拭したいとの強い思いで、県の対応や進め方について意見を述べ要望をしました。以下討論の要約をご紹介します。

県コロナ関連予算・事業へ強く主張！

神奈川県議会議員

おざわ良央

よしなか

臨県第６号議案「令和３年度神奈川県一般会計補正予算（第15号）」に対し、所管常任委員会における審議結果を踏まえ、討論を行います。

感染力が強いデルタ株が主流となり、県内でも医療崩壊が始まりつつある厳しい状況となっています。そのような中、国は８月17日に、本県に出されている緊急事態宣言の期限を９月12日までに延長しました。それを受け、早急に措置する事業385億7,100余万円の補正予算が提案されました。

飲食店等への時短等の協力金について

まず、飲食店等へ支払う協力金281億2,515万円については、時短等の協力要請のための先行交付により、協力店舗がどの程度増えたか、期間が延長になった場合にはその検証も踏まえての実施を要望します。
また、協力金の交付については、委託事業者の体制強化を図り、早期の支給に努めることを要望します。

大規模施設等への協力金について

大規模施設等に対する協力金（第５弾）19億7,356万円については、実情にあった予算編成や制度設計が行えるよう、国へ制度の見直しやスキームの変更などを求めることを要望します。

中小企業等支援給付金について

中小企業等支援給付金72億9,351万円についてですが、酒類販売事業者等へは国の月次支援金に対し県による上乗せ等、ある程度手厚い支援となっています。しかし酒類販売事業者等を除く中小企業者等支援給付金は国の月次支援金の給付に、「売上が50％以上減少」という厳しい要件付きです。この緩和について、引き続き国に求めることを要望します。

抗原検査キットの園児・児童等への配布について

次に「抗原検査キットの園児・児童等への配布事業」11億7,951万円についてです。これはワクチン接種対象外の園児や児童等における感染拡大防止のため家庭で検査できる抗原検査キットを配布するものです。キットの配布だけではなく、専用のコールセンターなどの相談体制の整備、学校現場や小児科など医療機関との連携などフォローアップ体制の構築を要望します。

県西地域の医療確保について

小田原市立病院の重症者の７割が県東部からの搬送であることから、県西地域での地域医療の存続が懸念されます。休業している宿泊施設等の情報を集め、県西地域の宿泊療養施設の新規開設に努めることを要望します。

医療提供体制の整備と拡充について

本県の医療提供体制が実際にどう整備されているのかや、病床が増えない理由など、県民へ丁寧な説明が必要と考えます。県職員を始め医療関係者などの皆様には、常に最悪の状況を想定し、先手を打った感染防止対策に引き続き取り組むことをお願いします。

以上、意見・要望を申し上げ、賛成討論といたします。

企画制作・おざわ事務所 TEL 0465-35-0001 FAX 0465-35-4666